

令和4年度 向日市競輪対策協議会議事録

開催日時	令和5年2月16日(木) 午後2時00分から午後2時50分まで
開催場所	向日市役所 本館3階 第7会議室
出席委員	安田市長(会長)、五十棲副市長(副会長)、西川向日市区長会長(向日台連合自治会長)、小山向日区長、岡崎寺戸町連合自治会長、廣川向日市校長会会長、中村向日市PTA連絡協議会理事、高橋向日市商工会長、富安向日市議会議長、常盤向日市議会副議長、米重まちづくり特別委員会副委員長、福田京都府山城広域振興局副局長、福井京都府自転車競技事務所長、森田京都府乙訓土木事務所長、金子向日町警察署地域課長(署長代理)、能勢京都府総務部副部長、山本京都府総務部総務調整課長
欠席者	磯野京都府議会議員、小野まちづくり特別委員会委員長
事務局	水上総務部長、行元総務課長、松井係長、深澤主査
関係職員 (京都府)	是洞京都府自転車競技事務所次長、高田京都府総務部総務調整課主幹
(向日市)	福岡建設部長
傍聴者	1名
議題	(1) 競輪場開催状況等について (2) 向日町競輪場の今後のあり方の検討状況について (3) その他

内 容

(京都府自転車競技事務所長)

議題（１）競輪場開催状況等について

—資料の説明—

P 1 「入場人員数及び売上額推移」

- 本場開催における入場人員の指数は平成 17 年以降年々減少している一方で、売上額の指数はほぼ横ばいの傾向。この売上額には、車券のインターネット販売や場外開催の受託販売額が含まれているため、入場人員指数との乖離が生じている。

○令和 3 年度実績

本場開催	開催日数：	60日
	入場人員：	2万4368人（前年度比約10%減）
	売上額：	約235億7000万円（前年度比約1.9倍）

売上額の増加については、コロナ禍における巣ごもり需要を背景とした車券のインターネット販売の急増が要因と考えられる。

場外開催	開催日数：	285日
	入場人員：	約23万人
	売上額：	約25億円

入場者数、売上額ともに減少傾向にあるが、これも車券のインターネット販売の増加等の影響によるものと考えている。

※本場開催：向日町競輪場でレースを行うもの。

場外開催：他の競輪場で開催されているレースの受託販売を行うもの。

P 2 「駐車場の使用状況推移」

- 本場開催では1日平均142台、場外開催では1日平均102台の利用で、前年度に比べて減少している。

P 3 「令和 4 年度 入場人員・売上額・駐車状況」

- 本場売上額は、令和 5 年 1 月末時点で約 207 億円。

今年度の売上見込みとしては、昨年 11 月に開催予定であったミッドナイト競輪が設備不良により中止されたこともあり、昨年度に比べて 10 数億円程度減少するのではないかと考えている。

P 4 「競輪場施設利用状況」

- 令和 3 年度は約 1 万 4 0 0 0 人の利用があった。

- 土日に開催しているBMX関係では、令和3年度は2125人の利用があったが、大半が京都市や他都市の方の利用であった。地元住民に開かれた競輪場を目指す取り組みとして、向日市内の子供たちがさらに利用しやすくなるよう、平日開催の準備等を進めている。内容が固まり次第、市内小学校や幼稚園等の関係機関に説明に回る予定をしている。

(京都府総務部総務調整課長)

議題(2) 向日町競輪事業の今後のあり方に関する基本的な考え方について —資料の説明—

昨年7月に設置した向日町競輪事業外部有識者会議での議論を踏まえ、基本的な考え方をまとめた。

外部有識者会議では、①競輪事業の持続可能性、②競輪事業及び競輪場の意義・役割の再確認、③公益性の担保の3つを論点として議論され、存続の方向で意見が集約された。その上で、京都府において各論点についての検証を行った結果、現在の包括民間委託が終了する令和6年度まで継続するとされている競輪事業については令和7年度以降も継続することとし、持続可能となるよう、引き続き、経営改善の取り組みなどを実施するとともに、競輪場については、施設・機能を集約の上、競輪事業の継続に必要な施設等を整備した上で、集約化に伴い生じる余剰スペースの整備を実施することとした。競輪・自転車競技関係者のみならず、府民に広く親しまれるような存在へと変革したいと考えている。

令和4年度に基金を設置し、令和5年度には基本構想を策定したいと考えている。

(委員)

令和7年度以降も継続するということがあったが、期間は限られるのか、それとも今後ずっと継続するのか。

(京都府)

施設の整備をする以上は、20年、30年なのかはわからないが、長期的に継続して実施することを想定している。

(委員)

令和5年度以降に基本構想を策定するとあるが、これは地域住民、近隣の者の話し合いの中に参加することは可能なのか。

(京都府)

基本構想の策定にあたっては、手法については今後検討することになるが、幅広く地域住民の皆様の意見も伺いたいと考えている。

(会 長)

新聞に記事が載っていたが、今まで発表していた内容と異なる点はあるか。

(京都府)

発表している内容と異なるところはない。

(委 員)

永守重信市民会館ができたこともあり、いろんなイベントが開催されることになると思うが、今後も第4駐車場を市民会館の利用者に貸してもらえるのか。新聞記事に駐車場のことも規模を縮小するのかもしれないのか触れてあったと思うが、そのあたりを聞きたい。

(京都府)

施設整備の方向性はあくまで想定イメージであるので、今後検討していくということをご理解いただきたい。駐車場については、昔と違ってインターネット販売の影響で来場者が減少しており、満車になることはほとんどない。駐車場も含めどういうあり方にするか、どういう施設にしていくか、また相談したいと考えている。

(委 員)

今後も駐車場のみでなく、過去にはグラウンドとしても使ったことがあるので、いろんなイベントで開放していただきたい。私たちの意見も伝えていきたいと思う。

(委 員)

全体像がこれから検討されて決まってくると思うが、大体のスケジュール、大まかなことが決まってくるのがいつ頃になるのか教えていただきたい。

(京都府)

外部有識者会議の意見を踏まえて、現時点では令和7年度以降も継続して競輪事業を行うことまで決めている。

外部有識者会議は令和5年度も継続して設置し、施設のあり方についてどのようなことができるかという意見をいただきながら、或いは市や地元の方の意見を聞きながら、令和5年度に基本構想の策定をしていきたい。

令和7年度には滋賀国体で競輪場を使う予定があるので、それ以降に工事の着工ができればと考えている。

(会 長)

現状よりもこれからどうなっていくかということに皆関心があり、市に及ぼす影響も大きい。逐一情報を公開していただき、できる限り市民の意見を聞きながら、「使いたいな」「ええとこやな」「ぜひ来てな」と言えるような施設になってくれたらと市民は思っていると思う。